

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団
団長 渡辺敏光
電話・fax 31-6431
w:toshi@agate.plala.or.jp
松本敏子
電話・fax 59-4607
mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党平塚市議会議員団
電話 0463-23-1111 (内線 2375)
平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

日本共産党議員団の法律相談
今回は9月13日です。
午後1時 (要予約)

No.993 2008年8月31日発行

ひらつか改革プランで 職員削減や遊休市有地売却など 効果は約14億円と発表

平塚市は7月に、平成17年度から19年度までの第5次行政改革「ひらつか改革プラン」の取り組みの成果を発表しました。

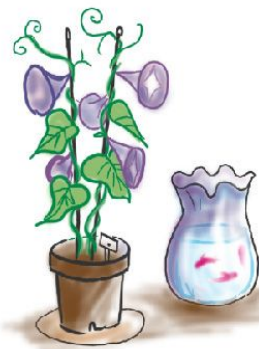
そこでは、この3年間に「職員の削減」「遊休市有地の売却」などの行政改革を進め、約14億621万円の財政効果を上げたと報告しています。

この行政改革プランは、「経営型の行政へ」と「協働の行政へ」の2つを柱にすえ、
◎平成21年度までに、全庁職員を100人削減、及び現業職員の採用ゼロを掲げました。

その結果、19年度までに83人を削減し（内現業職員53人）、行政運営の効率化や簡素化、職員数の適正化によって5億1,637万7千円の成果。

◎遊休市有地の売却では、5億2,022万7千円の成果と発表しています。

3年間のまとめとして、「今後、行政需要に対応した職員数の適正化や指定管理者の導入を進めるとともに、庁内分権や行政評価システムを活用し、『経営型行政』への転換を加速させて」ゆくとしています。



上記のメールアドレスまたは電話にて、皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。

今年度、新たに「ひらつか協働経営プラン2008 新平塚市行政改革実施計画」が策定されました。今までの柱であった「協働のまちづくり」と「経営型の行政」を引き続き「基本理念」とした「大綱」に沿って、行政改革実施計画でそれらを具現化していくとしています。

実施計画の期間は3か年とし、毎年、PDCAサイクル（計画（Plan）→実行（Do）→検証（Check）→改善（Action）の流れを次の計画に活かしていくプロセスのこと）による見直しをおこなっていくとしています。

平成20年度以降に指定管理者制度の導入が計画されている施設がこんなに！

平成20年度以降、次の施設を順次、指定管理者制度に切り替えていく計画となっています。

保育園（10園）、湘南海岸公園、湘南海岸公園プール、高麗山公園、土屋霊園、総合公園、ひらつかアリーナ、市民センター

*保育園については、指定管理者制度以外の方法も含めた中で、可能な施設から民営化の研究を進めるとして、実施計画では平成21年半ばには方向性を決定するとしています。

次の施設については、当面直営としますが、社会環境の変化により、指定管理者制度の導入を検討するというものです。

青少年会館、びわ青少年の家、子どもの家（4施設）、花水台ハイム、龍城ヶ丘プール、その他都市公園、市営住宅（27か所）、市民病院、学校給食共同調理場（2施設）、教育会館、地区公民館（25館）、中央公民館、図書館（4館）、博物館、美術館、漁港

《保育所が、保護者と施設側との直接契約に！？》

自民・公明政府が策定した「骨太の方針2008」の「地方分権改革推進要綱」では、道州制を見据えた抜本的見直しが提起されています。

そこには、国民の権利と国の責任を後退させる危険性をはらんでいるものがいくつも盛り込まれています。そのひとつが保育所について。「保育に欠けるという入所要件の見直し」や、「保護者と保育サービス提供者との直接契約方式」についての検討も今年度中に結論を得るとしています。国は、女性の社会進出を推奨する一方で、働く母親への子育て支援から後退する方向が見え隠れします。

スズメバチ

今月、「スズメバチの巣を作られた！どうしよう！」という問い合わせを受けました。

話を聞きに行くと、通りかかった人が「この間は、うちの方にも巣があって、市に電話したら『生きがい事業団に言ってください』と言われた。」とのこと。

現業職員、採用ゼロにより

平塚市では今年の春まで、環境業務課が直営でスズメバチに限らず害虫の駆除を行ってきました。ところが、今年度からその現業職員が退職したために、市はその業務を廃止し、生きがい事業団を紹介するのみとなったのです。

そこで、近隣市町ではスズメバチの駆除をどうしているのか調べてみました。

市町	駆除方法	本人負担	公費負担
平塚市	業者紹介	全額自己負担	なし
伊勢原市	業者紹介	費用の2/3	費用の1/3(上限5千円)
			防護服の貸出しあり 殺虫剤の貸出しあり 市の所有施設・住宅は直営で駆除
秦野市	業者紹介	全額自己負担	なし 市の所有施設・住宅は直営で駆除
茅ヶ崎市	外部委託	なし	全額負担
藤沢市	外部委託	なし	全額負担
大磯町	業者紹介	半額	半額(上限1万円)
			防護服の貸出しあり
二宮町	業者紹介	全額自己負担	なし

近隣市町でも行政改革のあおりで、市の直営駆除は減少傾向にあるようです。しかし、スズメバチは、他のハチと違って大変危険です。

スズメバチの毒はやっかいなタンパク質系の毒で、私たちの体が持つ免疫システム(抗原抗体反応)に反応し、人によってはショック死を起こす場合があります。そのために、多くの自治体が「スズメバチ」に限って、市の負担で駆除しているのが実態です。

藤沢市では、平成17年度には262件、18年度には303件を公費で駆除。茅ヶ崎市でも、毎年平均200件の駆除を公費で行っているといわれています。



スズメバチの巣 岡崎にて

スズメバチ駆除は 1件につき8,000円~1万2,000円

業者に駆除をお願いすると、1件につき8千円から1万2千円するといえます。

そのため、伊勢原市や大磯町では、「自分で駆除する」という人のために「防護服」の貸し出しも行っています。今回、他市町の状況も勘案し、市の建築住宅課では、「市営住宅については市が管理者であり、市が駆除する」ことを決定しました。

いままで直営だったスズメバチの駆除が、今年からは「自己責任」にされて1回に1万円も支払うことになり、生活の厳しい折 市民の懐は痛むばかり。

死に至ることもある害虫駆除には、ぜひ公的助成を望むという声が出ています。



鋭いアゴで、服や皮膚に噛みつき、何度でも刺します。

スズメバチの習性

スズメバチは、7月から8月にかけて、巣営場所が狭くなると広い場所(軒下など)に引越す習性があるといえます。多数の働き蜂が一斉に巣作りに参加するために、今までなかったはずの軒下などに急に大きな巣ができて驚かされることがあります。

【スズメバチを見つけたら次のことに注意】

ポイント1. 巣に刺激を与えない。

ポイント2. 黒い色は避ける。(スズメバチは熊等に巣を壊されたりするので、黒いものには過敏に反応します)

ポイント3. ハチを振り払わない。(手で振り払うと、ハチは攻撃されたと判断します)

ポイント4. 姿勢を低くする。(しかし、黒い服を着ていたら、まず遠くに逃げること)

このほかに、香水などのにおいもハチを刺激することがあるといわれています。



松が丘小学校での「自転車安全教室」

22日(金)は、9時から松ヶ丘小学校で地域をあげての「自転車の安全教室」がありました。

学校と生徒、保護者、交通安全協会、くらし安全指導員、そして、地域の自転車やさんにも参加してもらっての安全教室です。

生徒には自分の自転車に乗ってきてもらい、くらし安全指導員からは「正しい乗り方」の指導を、自転車屋さんからはそれぞれの自転車に不備がないかを無料で点検してもらおうというものです。

交通安全協会からは、自転車事故の恐ろしさや、市内でも危ないと言われている市役所とダイエーの間の横断歩道の正しい自転車の乗り方など、スライドを見ながら説明を受けました。

市内全校で、子供たちの自転車の点検を無料でできたら、「子供たちを自転車事故から守る」第一歩が確保されることとなります。